

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	高野地雇用促進協議会
取組	(2) 地域の女性グループの活動支援
構成員数	35人(うち、女性の人数:5人) 令和4年5月時点

1 事業実施方針

高齢化が進む産地の労働力確保と新規就農者の確保を図ると共に、都会の若者に農村地域及び農業への理解を深めてもらい産地と地域の活性化を図る。
当地域の農家女性組織は地域で生産される農産物を利用し、6次産業化に取り組んでいる。令和2年度には加工場の整備とともに法人化し、女性の能力を活かした活動を通して、農業所得向上や雇用拡大など、今後当地域が就農・移住地として選ばれるための環境を整備し、活力と魅力ある地域づくりを目指す。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

地区には、周年収穫できる果樹を活用しジャムやマーマレード加工を中心とした6次産業化に取りくむ女性組織「高野地フルーツ倶楽部」がある。平成4年に地区PTA活動をする女性たちで結成され、地区で生産されたみかん・キウイ・梨・ブルーベリーなどの格別品を加工し、地域内や市内道の駅等で販売を行ってきた。

令和元年5月に八幡浜市で開催されたダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会、また英国大会に出品したマーマレードが金賞を受賞し、フルーツ倶楽部の活動・認知度が市内外を中心に高まった。

これまで地域の中の小さな工房で作業していたが、地域住民の後押しもあり、加工場の新設に踏み切ることとなり、令和2年7月には、廃校となった小学校の教室を「農産加工室」として整備するとともに、「企業組合高野地フルーツ倶楽部」として法人化し、地域の農産物を加工販売する会社として活動を始めた。

また同年には、注目は集めるものの販売数が伸び悩むマーマレードについて、デザイナーやライターなどと新ブランド開発チームを結成し、高野地地区の空をパッケージデザインに採用した、ブランド「天空のマーマレード」を作り、高級柑橘であるせとかや甘平を加えた6種類のマーマレードを開発した。令和3年3月には、「新商品発表会」を行い、多くのマスコミや関係者に活動と新商品の紹介を行い、テレビや新聞で活動が紹介された。翌年にはジャムのデザインも刷新し、好評を得ているところである。

高野地フルーツ倶楽部は、長年の経験と技術を礎にした活動だけでなく、若い世代の農家女性のアイデアや意見を取り入れ、ネット販売やSNSでの情報発信なども積極的に取り組み、農家女性

の活躍の場、所得向上、雇用拡大などを目指して活動している。

令和3年には、鎌倉の菓子店との取引の他、新規販路を確保しより一層の製造活動に取り組んだ。今後はさらなる商品開発と女性の経営管理能力・販売のプロとしての技術習得に努めていくことが必要と思われる。

さらに、令和元年度から県外出身の地域おこし協力隊の女性が当地区に移住し、地域のよい所や若い女性の視点での地域活動などを SNS や地域広報誌などで情報発信し、注目を集めている。

なお、高野地地区は、令和2年度第59回農林水産祭では村づくり部門において農林水産大臣賞を受賞し、地域は盛り上っている。

〈高野地雇用促進協議会〉令和元年7月30日発足

構成員：高野地みかん組合構成員31戸(うち農業者31戸)

役員：7人(男性5人、女性2人)

活動内容：①労働力確保

②新規就農者確保育成

③シェアハウス管理運営

〈企業組合高野地フルーツ倶楽部〉令和2年7月発足

構成員：14人(男性7人、女性7人)(うち農業者14人)

活動内容：①高野地地区の柑橘、果物等地域農産物の販売事業

②高野地地区の柑橘、果物等地域農産物の加工及び販売事業

③たけのこの瓶詰等の販売事業

④前各号の事業に附帯する事業

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組み)		
1) 地域活動運営打合せ ・関係機関(県・市・金融機関等)との活動協議	1) 年間20回	
2) 加工活動の情報発信(メディア・SNS) テレビ、新聞等を利用した活動PR インスタグラムを利用した情報発信	2) メディア、SNS20回	

<p>3) 農作業アルバイト・ボランティアの受け入れ ・アルバイト受入れ</p> <p>4) 簡易宿泊所「シェアハウス長谷」の整備 ・女性専用スペースの整備</p> <p>(今後の取組み)</p> <p>1) 地域関係機関 (JA・県・担い手支援チーム)との情報交換・求人協力</p> <p>2) 地域農産物加工の継続と販路開拓</p> <p>3) 活動の継続発信 (メディア・SNS)</p> <p>4) 新規就農希望者、アルバイトの研修・体験受け入れ</p> <p>5) オンライン就農相談会等への参加</p> <p>6) 移住者情報の発信</p>	<p>3) 19人 (男性15人、女性4人) 2021年度実績</p> <p>4) 宿泊所内の女性専用休憩室及び更衣室、洗濯物干場の確保と改修</p> <p>1) 年間20回 (目標)</p> <p>2) 商談会参加1回、販路開拓1か所 (目標)</p> <p>3) 年24回 (目標)</p> <p>4) 就農希望者及びアルバイトへのインターネット募集の取組、年間15人 (目標)</p> <p>5) 年間3回 (目標)</p> <p>6) 移住フェアの参加年間2回 (目標)</p>	
--	---	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 定例会の開催 農産物の生産状況、販売状況を確認するための加工活動体制を整備</p> <p>2) 地域農産物加工活動と商品開発 マーマレードのブラッシュアップに向け、デザイナーなどを含めた新体制を整備し、新ブランドの立ち上げに取り組んだ。</p> <p>3) 雇用に向けた定例会の開催と環境整備 農繁期の雇用確保に向けた会議を開催し、地域の意見とりまとめと受け入れ体制を整備した</p>	<p>1) 年間12回実施 (2021年度) 組織活動の充実と組織員の役割分担の明確化に取り組んだ。</p> <p>2) 県・デザイナー・ライター等との新商品開発に取り組む、デザイン制作に取り組んだ。</p> <p>3) 年間12回実施 (2021年度) 雇用促進協議会を開催し、</p>	

<p>4) 関係機関との情報交換、活動状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性農業者の活躍状況整理 ・加工活動 PR <p>(今後の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 定例会の継続開催 2) 関係機関(県・JA)での勉強会・研修会参加を通じた関係性・ネットワーク構築 3) 販路拡大に向けたPRイベント活動の実施 4) 女性の所得向上に向けた販路拡大活動の実践 5) 農業女子組織への参加とネットワークづくり 6) 自治体行事への雇用促進協議会としての参加 	<p>受入れ農家確認やアルバイト受入れ体制の整備等を行った。また、男女別の入口整備やトイレ・風呂場の改修に取り組んだ。</p> <p>4) 2021年6月(県関係者)、2022年1月(西条市女性団体)情報交換 年間15回</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 12回開催(目標) 2) 年間4回程度(目標) 3) 年間4回(目標) 4) 商談会参加、販路開拓(目標) 5) 一次産業女子ネットワーク活動への参加(目標) 6) 2回(目標) 	
---	--	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 働きやすい労働環境づくり 地域での農休日の設定 2) 働き甲斐のある農業環境づくり 夫婦参加の研修会 3) 女性農業委員の選出 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 年間20日 10日と第4日曜日(10-12月を除く)S50から実施 2) 女性の農業技術・知識の向上を目指し、剪定・摘果講習会は夫婦参加が9割あった。 3) 女性農業委員への選出1名(～R5.7) 	

(今後の取組) 1) 働きやすい労働環境づくり 地域での農休日の設定、 2) 働き甲斐のある農業環境づくり 夫婦参加の研修会 3) 女性農業委員の選出 4) 女性農業研修生・移住者受入れ体制整備と PR 資料作成 5) 家族のルールづくり 6) 優良事例研修	1) 地域での農休日実施 (目標) 2) 女性の農業技術向上と 夫婦参加型の研修会や視 察研修の開催年 4 回 (目 標) 3) 女性農業委員など委員 への登用促進 1 名 (目標) 4) アルバイター紹介資料 の作成と PR (目標) 5) 家族経営協定締結 2 件 (目標) 6) 研修会 2 回 (目標)	
--	---	--

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	組合の方針やターゲットが明確化されていない。
②	県外にも販路を広げていきたいが方法が分からない。
③	単発の取引が多い。

【課題解決のための補助事業 (概要)】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	優良活動組織の事例を調査し、実店舗での販売傾向をつかむ。
②	愛媛県や中小企業団体中央会が開催する研修会等に参加する。 プランナーに入っただき、販路開拓のサポートをお願いする。
③	取引先のニーズに合った商品の提案を継続して行うとともに、信頼性を高めるため商品のサイズ・重さに合った出荷用の箱をつくり、気持ちよく取引ができるようにする。また組合のブランドロゴをつけることで受け取りの際に一目で分かり、覚えてもらうことを狙う。

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	方針(事業内容)やターゲットを明確化し、組合内で目標を共有する。
②	販路開拓や営業のノウハウを学び、少なくとも 1 企業と新規で取引を結ぶことを目指す。
③	双方にとって安心安全の取引(出荷・荷受)ができ、単発だけでなく継続したやり取りができることを目指す。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年7月～8月	対象者：組合メンバー4名 視察先：東京都・神奈川県	旅費 184,364 円	
①	2022年8月～9月	対象者：組合メンバー15名 視察先：山口県	旅費 149,264 円	
②	2022年7月～2月	対象者：組合メンバー全員 関係者：愛媛県、えひめ産業振興財団、 中小企業団体中央会、6次産業化プランナー	謝金 60,000 円	謝金規定に基づき算出
③	2022年7月～9月	オリジナルの出荷用箱の制作	消耗品費 112,875 円	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	4人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 0人、雇用就農者 1人、アルバイト・ボランティア等	3人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。